

## 平成26年度青少年ボランティア賞受賞団体・個人及び活動内容

### 〈団体の部〉

	団 体 名	活 動 内 容
1	小松市立 安宅中学校 生徒会	平成2年から、全校生徒で安宅海岸の清掃を行い、地域の環境美化に貢献するほか、あいさつ運動やインターネット利用のルール作りを生徒自身で行う「ネチケット運動」を行い、いじめ撲滅やより良い校風の樹立に努めている。活動は地域の人や自然を愛する心を育み、人と人との繋がりを築く上で、大きく貢献している。
2	金沢市立 小將町中学校 ボランティア 委員会	平成9年から、地域の瓢箪町公民館においてお年寄りと夕食をともにし、ゲームなどを楽しむ交流活動の「夕食交流」を長年継続的に実施しているほか、一人暮らしの高齢者宅への弁当配付を行っている。活動は地域の青少年に高齢者へのいたわりと思いやりの心を育むとともに、地域社会の福祉向上に大きく貢献している。
3	金沢市立 医王山小中学校	平成16年から、地域伝統の「いやさか踊り」と地域の歴史を学び、学習を生かして地域行事やイベントに積極的に参加している。また、陸前高田市へのボランティアに参加して「いやさか踊り」を披露するなど、地域文化の発信や他地域との交流に活躍しており、児童生徒には地域の文化継承・発展の担い手として大きな期待が寄せられている。
4	能登町立 小木中学校	東日本大震災を機に、平成23年から高齢者、障害者などの要援護者も視野に入れた防災・減災活動に取り組み、「防災を日常に」の意識の醸成を目標に、地域の防災訓練等を実施している。活動をとおして地域の一体感が深められ、地域行事の復活などにも貢献し、中学生主体の地域ボランティアとして、高い評価を得ている。
5	石川県立 野々市明倫高等学校 生徒会	昭和58年から、学校周辺やJR野々市駅等の清掃活動に取り組むほか、野々市の市、野々市じょんがらマラソン等の市のイベントにも協力している。また、学校近隣の高齢者施設「明倫館」の慰問活動や海外の災害被災地への緊急募金活動などを工夫して実施するなど、多くの社会貢献活動に熱心に取り組んでいる。
6	金沢学院 東高等学校 吹奏楽部	平成16年から、学校近隣の保育園で長年にわたってクリスマスなどの行事に合わせた演奏活動を実施するほか、地区の文化祭等でもボランティアの演奏活動を行っている。地域の活性化を促進する地域貢献活動及び園児、児童の豊かな感性を育む教育活動として、大きな貢献を果たしている。
7	石川県立 七尾東雲高等学校	東日本大震災の募金活動を震災発生当初から開始し、3年間以上にわたり毎月1日前後に七尾駅前や地域のショッピングモールなどで継続して実施している。東北地方の復興を支援する本校の活動は、青少年のボランティア精神の高揚に大きく貢献するものとして高い評価を得ている。
8	北陸学院大学 ハンドベルクラブ	平成20年の大学創設から、クリスマスシーズンを中心に、小松市、野々市市、金沢市の障害者施設や高齢者福祉施設、幼稚園、病院などを訪問して、ハンドベルの演奏を披露している。毎年訪問する施設では一緒に楽しめる方策を取り入れ、演奏活動を通じた交流に努め、各施設から恒例の行事として喜ばれ、期待されている。
9	山中児童センター やまなかっ子 ボランティア	核家族化が進み、小学生と高齢者、あるいは地域との交流が希薄化する中、平成22年から、山中地区にある高齢者施設への慰問をはじめ、観光名所でのお茶出しボランティアグループとの合同活動、ふれあいサロンでの交流など、世代を超えた交流活動を実施し、地域に大きく貢献している。
10	石川県 スポーツ少年団 リーダー会	平成7年から、スポーツ少年団において、主に小中学生を対象とした交流会や研修会の企画・運営を行い、レクリエーションや集団行動を通じて、子どもたちの自主性・創造性と仲間意識を養うことを目的に活動している。また、将来指導者となる中学生以上のリーダー育成を継続的に行うなど、活動は高い評価を得ている。
11	西尾っ子鳶	小松市尾小屋町に伝わる「尾小屋鳶」の伝統を継承するため、地域の方から鳶(はしご登り)の演技指導を受けて練習に励み、学校の入学式や収穫祭のほか、地域行事などで、練習した技を披露して地域伝統の継承と普及に大きく貢献している。また、「西尾っ子鳶」の演技は他の児童の憧れとなっており、児童の心の成長にもつながっている。

### 〈個人の部〉

	氏 名	活 動 内 容
1	かわむら かずき 河村 一輝 ボーイスカウト 石川県連盟 金沢第10団	平成23年から、ボーイスカウト下部組織のカゴ隊(小学校2～5年生)に対して、ボーイスカウトの心構えや行動及び身につけるべきロープの結び方や読図、救急法などの技術指導を行うなど、健全なボーイスカウトの育成に努めている。また、野営の際に雑伐採木を活用するなど、環境の保全・保護活動も継続的に実施している。